



学生家庭教師会
夏期講座

中2 英語3



Lesson4

5文型

いろいろな文型

英語の文は、主語(S)、動詞(V)、目的語(O)、補語(C)の組み合わせによって、5つの文型に分けられます。

① S+V

① This train runs fast.
(この列車は速く走ります。)

② S+V+C

② You look happy.
(あなたは嬉しそうに見えます。)

③ S+V+O

③ Emi enjoyed listening to music.
(エミは音楽を聴いて楽しみました。)

④ S+V+O+O

④ Mr. Yamada teaches us English.
(山田先生は私たちに英語を教えています。)

⑤ S+V+O+C

⑤ We call the dog Pochi.
(私たちはその犬をポチと呼びます。)

修飾語は文の要素に入りません。



① S+V

<主語 (S) + 動詞 (V)>の形で、「…は～する」という意味をあらわす文を、第1文型といいます。

この文型では、動詞のあとに修飾語をとこなう場合が多いです。

This train runs fast.
S V 修飾語

(この列車は速く走ります。)

この例文では、fastが修飾語だよ。



② S+V+C

<主語 (S) + 動詞 (V) + 補語 (C)>の形で、
「...は~です」「...は~に見えます」などの意味をあらわす文を、
第2文型といいます。
この文型では、S=Cの関係が成り立ちます。

You look happy. (あなたは嬉しそうに見えます。)

S V C (形容詞)

└── S=C ──┘

補語 (C)とは、主語や目的語の
名詞が、どのようなものなのかを
説明する語のこと。
補語になれるのは、名詞と形容詞
だけだよ。



② S+V+C

～第2文型で使われる主な動詞～

be動詞+名詞(形容詞)	～である	She is our teacher.
become +名詞(形容詞)	～になる	He became a doctor.
look+形容詞	～に見える	You look happy.
sound+形容詞	～に聞こえる	That sounds good.
get+形容詞	～になる	It got cold.
feel+形容詞	～と感じる	I feel well today.

③ S+V+O

<主語(S) + 動詞(V) + 目的語(O)>の形で、「...は~を一する」という意味をあらわす文を、第3文型といいます。

この文型では、動詞のあとに置かれ、「~を」にあたる名詞、代名詞、不定詞、動名詞などが目的語(O)になります。

Emi enjoyed listening to music.
S V O

(エミは音楽を聴いて楽しみました。)

目的語(O)とは、動詞があらわす動作の対象になる語のこと。「~を」「~が」にあたる部分だよ。



④ S+V+O+O

<主語(S) + 動詞(V) + 目的語(O) + 目的語(O)>の形で、「...は～(人)に～(物)を一する」という意味をあらわす文を、第4文型といいます。この文型では、動詞のあとに<人+物>と目的語が2つ続きます。

Mr. Yamada teaches us English.

S

V

O(人) O(物)

(山田先生は私たちに英語を教えています。)

④ S+V+O+O

<主語(S)+動詞(V)+目的語(O)+目的語(O)>の形で、「...は～(人)に～(物)を一する」という意味をあらわす文を、第4文型といいます。この文型では、動詞のあとに<人+物>と目的語が2つ続きます。

～第4文型で使われる主な動詞～

show	～に・・・を見せる(示す)	I showed her my guitar.
send	～に・・・を送る	She sent me this book.
tell	～に・・・を話す(教える)	The old man told us an interesting story.
teach	～に・・・を教える	Mr. Yamada teaches us English.
make	～に・・・を作る	My mother made me lunch.

S+V+O+Oの書き換え

第4文型<S+V+O(人)+O(物)>の文は、
(人)と(物)の語順を入れ替え、前置詞のtoまたはforを使って
第3文型<S+V+O(物)+to[for]+(人)>の文に
書き換えることができます。

Mr. Yamada teaches us English.

→ Mr. Yamada teaches English to us.
S V O(物) to(人)

(山田先生は私たちに英語を教えています。)

toを使うか、
forを使うかは、
動詞によって決まるよ。

toを使う主な動詞	give, show, send, tell, teachなど
forを使う主な動詞	make, buy, cookなど



⑤ S+V+O+C

<主語(S) + 動詞(V) + 目的語(O) + 補語(C)>の形で、
第5文型といいます。この文型では、O=Cの関係になります。

We call the dog Pochi.
S V O C

(私たちはその犬をポチと呼びます。)

他には、
make(~を...にする)
name(~を...と名付ける)
などがあるよ。



問題1 日本文にあうように、()に適する語を書きなさい。

(1) 私は彼にTシャツをあげました。

I () () a T-shirt.

(2) 姉は私たちに朝食を作ってくれました。

My sister () () breakfast.

問題2 次の英文を日本語になおしなさい。

(1) I showed her my guitar.

()

(2) My mother bought me a new bag.

()

問題3 次の文を（ ）内の指示にしたがって書きかえなさい。

(1) Takuya gave this CD.

(「タクヤは私にこのCDをくれました」という5語の文に)

(2) I sent a present.

(「私は彼にプレゼントを送りました。」という5語の文に)

問題4

各組の文がほぼ同じ内容をあらわすように()に適する語を書きなさい。

(1) { My father made dinner for us.
My father made () ().

(2) { Ms.Tanaka is our music teacher.
Ms.Tanaka () () music.



Lesson5

接続詞

接続詞とは

接続詞とは、語と語、文と文などをつなぐ働きをする語のことです。

接続詞には、
and(～と・・・), but(～しかし・・・)などもあるけれど、
今回は、**if** , **that** , **when** , **because**について
詳しくおさらいしていくよ。



例文

June **and** Ken are students.

(ジューンとケンは生徒です。)

I had dinner, **but** I'm hungry.

(私は夕食を食べました、しかしお腹がすいています。)

接続詞とは

接続詞とは、語と語、文と文などをつなぐ働きをする語のことです。

例文

If you are tired, go to bed early.
(もし疲れているなら、早く寝なさい。)

She thinks (**that**) he is really kind.
(彼はほんとうに親切だと彼女は思っています。)

He always helps me **when** I have troubles.
(わたしが困っているとき、彼はいつも助けてくれます。)

I study hard **because** I want to be a doctor.
(わたしは医者になりたいので、一生懸命勉強します。)

接続詞 if

接続詞 **if**には、「(もし)～ならば」という意味があります。
<**if+主語+動詞**>で「もし～が・・・ならば」という意味をあらわします。

Go to bed early **if** you are tired.



(もし疲れているなら、早く寝なさい)

If you are tired, go to bed early.

<**if + 主語 + 動詞**>は、文の後ろにも前にも置くことができるよ。ただし、前に置いた場合にはコンマ(,)を必ず入れることを忘れないようにしよう。



接続詞 if

接続詞 ifには、「(もし)～ならば」という意味があります。
<if+主語+動詞>で「もし～が・・・ならば」という意味をあらわします。

If it **rains** tomorrow, I won't play tennis.

現在形

(もし明日雨が降れば、私はテニスをしません。)

未来のことも、現在形であらわすよ。



接続詞 that

接続詞 **that**には、「(～する)ということ」という意味があります。
<**that+主語+動詞**>で「～が…する(である)ということ」という意味をあらわし、**think, know, hope**などの動詞のあとにきます。
接続詞**that**は省略することができます。

She thinks (**that**) **he is** really kind.
主語 動詞

(彼はほんとうに親切だと彼女は思っています)

think(～を思う)



接続詞 that

接続詞 **that**には、「(～する)ということ」という意味があります。
<**that+主語+動詞**>で「～が…する(である)ということ」という意味をあらわし、**think, know, hope**などの動詞のあとにきます。
接続詞**that**は省略することができます。

Do you know (**that**) **he is** a famous singer ?

主語 動詞

know(～を知っている)

(彼が有名な歌手だということをあなたは知っていますか)



I hope (**that**) **everyone is** all right.

主語 動詞

hope(～を望む)

(全員無事だといいいのですが)



自分の考えを述べる文

I think (that) ~.は、「私は~と思う」という意味で、自分の考えを述べるときに使う表現です。

「~ではないと思う」という文をつくる場合、thatより後ろの文で否定せず、**I don't think (that) ~**とします。

I think (that) science is important for us.
(わたしたちにとって科学は大切だとわたしは思います。)

I don't think (that) Nancy can swim.
(わたしはナンシーは泳げないと思います。)

自分の考えを述べる文

I think (that) ~.は、「私は~と思う」という意味で、自分の考えを述べるときに使う表現です。

「~ではないと思う」という文をつくる場合、thatより後ろの文で否定せず、**I don't think (that) ~**とします。

●相手の意見や感想を問う場合には、

What do you think?「あなたはどのように思いますか」

●相手の意見や感想に賛成する場合は、

I think so, too.「わたしもそう思います」

●相手の意見や感想に反対する場合は、

I don't think so.「わたしはそうは思いません」 を使うよ。



接続詞 when

接続詞 **when**には、「～(の)ときに」という意味があります。

<**when**+主語+動詞>で「～が・・・するときに」という意味をあらわします。

He always helps me **when** I have troubles.



When I have troubles, he always helps me.

(わたしが困っているとき、彼はいつも助けてくれます)

<**when** + 主語 + 動詞>はifと同じく、文の後ろにも前にも置くことができるよ。ただし、前に置いた場合にはコンマ(,)を必ず入れることを忘れないようにしましょう。



接続詞 because

接続詞 **because**には、「(なぜなら)～だから」という意味があります。
<**because**+主語+動詞>で「なぜなら～が・・・だから」という意味をあらわします。

I study hard **because** I want to be a doctor.



Because I want to be a doctor, I study hard.

(わたしは医者になりたいので、一生懸命に勉強します)

<**because** +主語+動詞>もif,whenと同じく、文の後ろにも前にも置くことができるよ。ただし、前に置いた場合にはコンマ(,)を必ず入れることを忘れないようにしましょう。



問題1 ()に適切な単語を書きなさい。

(1) 私が6歳のとき、私たちは沖縄に住んでいました。

We lived in Okinawa () I was six.

(2) 私は病気だったので、学校へ行きませんでした。

I didn't go to school () I was sick.

問題1 ()に適切な単語を書きなさい。

(3) もし明日晴れなら、公園へ行きましょう。

Let's go to the park () it's sunny tomorrow.

(4) 私が起きたとき、トムはテレビを見ていました。

Tom was watching TV () () () ().

問題1 ()に適切な単語を書きなさい。

(5) 雨だったので、私たちはテニスをしませんでした。

We didn't play tennis () () () rainy.

(6) もしあなたが病気なら、あなたは学校へ行かなくてもよいです。

You don't have to go to school () () () sick.

問題1 ()に適切な単語を書きなさい。

(7) 私たちがアメリカに住んでいたとき、妹は5歳でした。

My sister () () years old () () lived in America.

(8) ケンは3歳なので学校へ行きません。

Ken () () () school () () ()
three years old .

問題2 次の英文を日本語にしてください。

(1) I think that Kenrokuen is beautiful.

(2) I don't think that Ms.Green likes cats.

問題4 次の日本語を英文に直してください。

(1)もしあなたが私の歌を気に入ってくれたら、私はうれしいです。

(接続詞を文中に)

(2)もし明日晴れたら、サイクリングにいこう。

(接続詞を文頭に)

(3)チョコレートを食べると幸せな気分になります。

(接続詞を文中に)

問題4 次の日本語を英文に直してください。

(4) 私が横須賀にいたとき、たくさんのアメリカ人に出会いました。

(接続詞を文頭に)

(5) メグはとても親切なので私は好きです。

(接続詞を文中に)

(6) 彼女は忙しかったので、私たちの家に来なかった。

(接続詞を文頭に)



「生きる」を創造する 
学生家庭教師会